

プラントメーカーからの回答結果について

第2回技術検討委員会で選定したプラントメーカーに対し照会を行った結果、表1のとおり回答があった。

照会事項全体を回答したメーカーは、焼却方式について、ストーカ式で2社、流動床式で2社となり、照会事項の一部について回答があったメーカーは、焼却方式のストーカ式で1社、ガス化溶融方式の流動床式で1社、焼却+メタン発酵方式（コンバインドシステム）で1社であった。

回答結果の概要については、参考資料1に記載のとおりである。

表1 回答結果

分類	実績	メーカー名	回答
焼却方式 (ストーカ式)	1位	日立造船(株)	
	2位	(株)タクマ	
	3位	JFE エンジニアリング(株)	
焼却方式 (流動床式)	1位	荏原環境プラント(株)	
	—	(株)神鋼環境ソリューション	
	—	(株)IHI 環境エンジニアリング	
ガス化溶融方式 (シャフト式)	1位	新日鉄住金エンジニアリング(株)	
	2位	JFE エンジニアリング(株)	
	3位	川崎技研(株)	
ガス化溶融方式 (流動床式)	1位	(株)神鋼環境ソリューション	
	2位	日立造船(株) 三菱重工環境・化学エンジニアリング(株)	
焼却+メタン発酵方式 (コンバインドシステム)	1位	(株)タクマ	
	1位	川崎重工業(株)	
	—	日立造船(株)	

※ ○：全てに回答，△：一部（経済性のみ）回答，×辞退，営業終了

ホームページ公開用として、表1のうち回答欄を非表示にしております。